

乳癌に対する術後放射線治療を受けられた患者さんへ臨床研究のお知らせです

揭示文書

課題名：乳癌術後放射線治療における適切な照射法に関する後方視的研究

本研究の対象：

乳癌に対して手術後に当院で放射線治療を受けられた方

調査対象期間：2014年4月1日～2016年12月31日

研究期間：医学倫理審査承認日～2018年12月31日

本研究の内容：

治療計画装置に記録された放射線照射方法や治療対象部位の照射範囲・照射線量、およびカルテ上に記載された再発の有無や出現した有害事象について後方視的に観察し、それらの関連について検討を行います。

本研究の意義：

乳癌治療において手術後に再発防止目的で放射線治療が広く行われています。近年、術後の胸壁や腋窩・鎖骨上窩・傍胸骨といったリンパ節領域を含む放射線治療、また乳房摘出後に再建された乳房に対する放射線治療の需要が増えていますが、その手法はまだ十分確立しているとは言えません。本研究により、適切な照射法・照射範囲や照射線量に関する情報が得られることで、乳癌における術後放射線治療の照射法確立への寄与が期待できます。

個人情報の管理：

この研究では、患者さんのお名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報が漏れないように、この一覧表はデータとは別に取り扱います。

また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、あなたの個人情報などが公表されることは一切ありません。

本研究への参加：

もし、この研究への参加をお断りになっても、あなたの今後の治療に差し支えることは一切ありません。研究への不参加を希望される場合は2017年2月28日までに下記研究の窓口までお知らせください。

連絡先

この研究の内容について、わからない言葉や疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたいときには、遠慮せずいつでもお尋ねください。

窓口：金沢大学附属病院放射線治療科 担当者：熊野智康
電話番号 076-265-2323 (放射線科学医局)